

LEXUS TEAM ZENT CERUMO

2017 AUTOBACS SUPER GT Report

MOTEGI GT GRAND FINAL

第8戦 ツインリンクもてぎ

ZENT CERUMO LC500

#38 立川祐路／石浦宏明

◆11月11日(土) QUALIFY

公式予選総合結果 9位(1分37秒858)

〈公式予選〉天候：晴れ コース状況：ドライ

第7戦タイを終え、18ポイント差ながら立川祐路／石浦宏明のふたりがチャンピオンの可能性を残しているLEXUS TEAM ZENT CERUMO。泣いても笑っても2017年のラストレースとなるツインリンクもてぎでの第8戦に向け、全力を出し切るべくチームは準備を進め、11月11日(土)の公式予選日を迎えた。



この日は午前8時45分から、曇天の下で公式練習がスタートした。開始直後には赤旗も出されたが、ZENT CERUMO LC500は立川がステアリングを握りコースイン。レースウィークに向けたセットアップを煮詰めていくが、立川からは「少しアンダーステアがある」というインフォメーションがピットへ飛んだ。ただ、ZENT CERUMO LC500自体のパフォーマンスは高そうで、アンダーステア対策をしながら立川は11周を周回。石浦にステアリングを委ねた。

ZENT CERUMO LC500のコクピットに収まった石浦は、決勝レースに向けたロングランを行う。その間に上空に立ちこめていた雲はどんどん薄くなり、もてぎ上空は晴天に。また、気温も上昇しはじめた。午前10時20分か

LEXUS TEAM ZENT CERUMO

らスタートした GT500 クラスの専有走行、今回行われた DTM ドイツツーリングカー選手権マシンのデモラン等を挟み、サーキットサファリ等の時間も使って石浦は周回を重ね、24 周をこなし 1 分 37 秒 929 というベストタイムに。この公式練習は 6 番手タイムをマークした。



ただ、石浦からも立川と同様、それほど ZENT CERUMO LC500 のフィーリングは悪くないものの、ややアンダーステアが感じられる印象が聞かれた。村田卓児エンジニアは、予選での上位グリッド獲得を目指し ZENT CERUMO LC500 に手を加え、多くのファンで賑わったピットウォークの後、午後 2 時からの公式予選に挑んだ。

予選 Q1 を担当したのは石浦だ。ライバルたちと同様に、残り 8 分を切ってから ZENT CERUMO LC500 はコースイン。石浦は他のマシンたちとの間隔を調整しながら、計測 2 周目にタイムアタックを敢行していく。

大きなミスもなくアタックを終えた石浦が、コントロールラインを通過すると記録されたタイムは 1 分 37 秒 858。悪くはないタイムだが、ライバルたちのタイムはどうか……!? チェッカーフラッグが振られ、タイミングモニターに表示された順位はまさかの『9』。予選 Q1 突破に必要な 8 番手までに入ることができず、ZENT CERUMO LC500 はなんと Q1 脱落となってしまった。

タイムとしては決して厳しいものではなかったが、僅差の GT500 クラスのなかで惜しくも Q1 突破を果たせなかった。ピットで Q2 に向けて準備を進めていた立川は、悔しそうにタイミングモニターから背を向けた。しかし、すぐにチームは気持ちを切り替



LEXUS TEAM ZENT CERUMO

え、翌日の決勝を見すえた。ピットに戻った石浦も、計測2周目のアタックに「一概には言えませんが、ひょっとするとライバルには計測3周目もいたので、それの方が良かったのかもしれない」と悔しがった。

ZENT CERUMO LC500 のレースでのパフォーマンスは、午前の公式練習で行ったロングランでもドライバーたちは高いものを実感している。チャンピオン争いについては苦しいグリッドとなってしまったが、「最後はいいレースをして終わりたい——」とLEXUS TEAM ZENT CERUMO は決勝へ向けて、気持ちを新たにした。



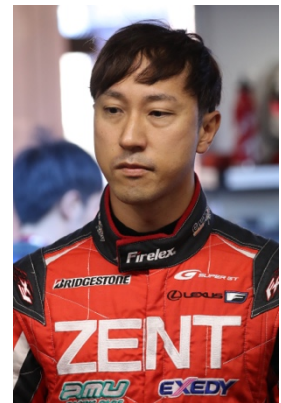
ドライバー／立川祐路

「公式練習の感触では、クルマのフィーリングも比較的良く、手ごたえもありました。若干のアンダーステアはありましたが、それほど大きな問題ではなかったですね。残念ながら予選ではうまくいかず、自分のQ2のアタックはできませんでしたが、自分が乗っていた感触は悪くないので、明日はなんとか追い上げたいと思っています。タイトル争いはすでにレース前から厳しい状況にはなっていましたし、ライバルの動向もありますからね。今年最後のレースなので、とにかく勝って、いい形で今シーズンを終えたいと思っています」



ドライバー／石浦宏明

「午前の公式練習では、立川選手からステアリングを受けとり、燃料を多く積んでロングランを行いました。ただ、立川選手も自分もアンダーステアの症状を訴えていて、予選に向けてセットアップの変更をしたものの、レベルアップには繋がらず、Q1を突破することができませんでした。今のところ流れがあまり良くありませんね。レクサス陣営



LEXUS TEAM ZENT CERUMO

のなかでも最近は順位が決まってきたので、その状況を打開しなければいけないと思っています」

浜島裕英監督

「Q1 突破までほんのわずかなタイムでしたが……。Q2 へ進出できなかったのは非常に残念でしたね。今回はライバルメーカーが非常に速く、ふたつポジションを失っている部分はありますが、それを抜きにしても少し力が足りなかったかもしれません。ただ、決勝レースに向けてロングランも行っていますので、そのデータを活かしながら、粘り強いレースを展開したいと思っています。タイトル争いは苦しくなりましたが、我々にできることはベストを尽くすだけです」



LEXUS TEAM ZENT CERUMO

予選結果表

| Rank | Car No. | CarName | Q1 Time | Q2 Time |
|----------|-----------|--------------------------|-----------------|----------|
| 1 | 23 | MOTUL AUTECH GT-R | 1'37.345 | 1'36.316 |
| 2 | 6 | WAKO'S 4CR LC500 | 1'37.795 | 1'37.207 |
| 3 | 37 | KeePer TOM'S LC500 | 1'37.536 | 1'37.366 |
| 4 | 46 | S Road CRAFTSPORTS GT-R | 1'37.224 | 1'37.530 |
| 5 | 24 | フォーラムエンジニアリング ADVAN GT-R | 1'37.572 | 1'37.580 |
| 6 | 100 | RAYBRIG NSX-GT | 1'37.841 | 1'37.713 |
| 7 | 36 | au TOM'S LC500 | 1'37.359 | 1'37.916 |
| 8 | 17 | KEIHIN NSX-GT | 1'37.361 | 1'37.927 |
| 9 | 38 | ZENT CERUMO LC500 | 1'37.858 | |
| 10 | 12 | カルソニック IMPUL GT-R | 1'37.980 | |
| 11 | 1 | DENSO KOBELCO SARD LC500 | 1'38.062 | |
| 12 | 8 | ARTA NSX-GT | 1'38.164 | |
| 13 | 16 | MOTUL MUGEN NSX-GT | 1'38.706 | |
| 14 | 64 | Epson NSX-GT | 1'38.735 | |
| 15 | 19 | WedsSport ADVAN LC500 | 1'39.066 | |